

小学生が船造りの素晴らしさを学びました！

5月24日（金）、苫小牧海事事務所は、北海道海事産業人材確保・育成推進協議会とともに海事産業の人材確保・育成事業の一環として、苫小牧東小学校4年生32人を対象に「次世代を担う子供たちに造船業の素晴らしさを知ってもらう」ことをテーマとした造船所見学会を開催しました（共催：日本中小型船舶工業会）

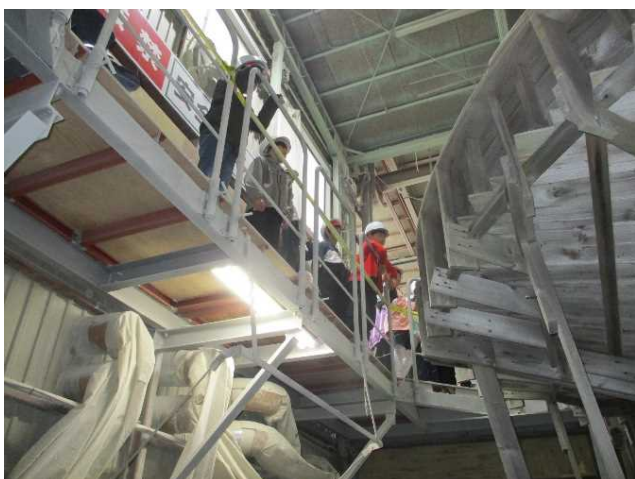
この見学会では、はじめに学校の教室で海上輸送の重要性など児童の心を掴むやさしい解説を行い、その後（株）アタカ造船所の構内において建造中のFRP船の建造技術や3日後に船主へ引き渡しされる新造船を見学しました。

児童達の反応を見る限り、海上輸送の重要性、船舶、地元造船業に対する興味や関心が深まったと思われます。

北海道運輸局としては、将来的に海事産業に携わる仕事に就いてほしいことから、海事海洋教育事業を継続して行っています。

参加者： 苫小牧東小学校4年生 32名

▼ 見学会の様子 ▼



▼ 参加者の声 ▼



海に囲まれている日本にとって、船は大切だからその船を造る過程を見れて楽しかったです。

船を造るのにこんなに大変なんだなと思いました。また船を造るのに長い期間をかけて完成することに驚きました。



船を造るのにはたくさんのお金と年月が必要で、とても大変なんだなと思った。

船を造っているのを見れてよかったです。家に帰ってからお母さんにお土産を見せながら今日あったこととお話してとっても盛り上がりました。



▼ アンケート結果 ▼

【設問】 今回のイベントが楽しかった理由は？

■ 船に乗れたから ■ 作業工程を見れたから ■ 船について知れたから ■ 船を見れたから ■ その他

